

報道関係者 各位

**大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科
「嚥下障害の検査法－実技演習－」を開催します！**

大阪保健医療大学（大阪市北区・福田益和学長）言語聴覚専攻科は、4年制大学卒業者を対象とした2年課程で、患者様に寄り添える「心ある言語聴覚士」、「現場で役に立てる言語聴覚士」を目指し養成教育を行っています。

タレントの堀ちえみさんやつくもさん、西城秀樹さんらの闘病の様子が度々報道されましたが、がんや脳卒中に罹患すると、言語障害や嚥下障害を生じることがあります。そのような方にことばや飲み込みのリハビリテーションを行うのが言語聴覚士です。

読売新聞の「医療ルネッサンス」（6月17～21日）に言語聴覚士を紹介する記事が掲載されたばかりですが、言語聴覚士は一般の方にまだよく知られていない職業です。超高齢社会の中でそのニーズは大変高く、病院、施設、地域で非常に求められている重要な専門職です。

今回1年生の授業で、嚥下障害のスクリーニング検査の実技演習を行います。最近メディアで取り上げられることも多い「嚥下障害」とは、食べ物や飲み物を口から取り込み、咀嚼をして嚥下（飲み込む）する一連の動作のどこかに困難がある状態を指します。うまく嚥下ができないと、肺炎（誤嚥性肺炎）を起こすこともあり、高齢になるほど死亡との高い関連が指摘されています。言語聴覚士は、病院や施設、訪問リハビリテーションなどで嚥下障害の患者様に対して評価や訓練を行います。年々そのニーズは高まりを見せています。

今回の授業では、反復唾液嚥下テスト（30秒間で何回唾液を飲み込むことができるかを測ることで嚥下機能を評価する）や、頸部聴診（聴診器で嚥下音や呼吸音を聞いて評価する）を実際に行い、嚥下機能の正しい評価方法を学びます。

人間にとって重要な「食べる」「聞く」「話す」を支える言語聴覚士の養成校で、このような取り組みを行っていることをぜひ知っていただきたいと思っています。授業当日、ぜひ取材にお越しいただきたく、ご案内申し上げます。

【開催概要】

授業名：言語聴覚専攻科1年生授業「嚥下障害Ⅰ」 担当：中村靖子講師

日 時：7月2日（火）4限 14:40～16:10

会場：大阪保健医療大学2号館2階 201教室（大阪市北区天満1丁目17番3号）

[当日のお問い合わせ・取材のお申込み] 大阪保健医療大学2号館 事務局 TEL：06-6354-0091